

JAISS

第22回 研究大会
プログラム

開催日：2013年11月16日（土）

受付開始：午前 9時30分

開 会：午前 10時00分

会 場：京都大学・芝蘭会館別館（国際交流会館）
京都市左京区吉田牛の宮町 11-1

日本国際秘書学会

第22回研究大会委員会／西日本支部

北の国から紅葉の便りが届く季節になりました。会員の皆さまにはますますご健勝にてご活躍のことと存じます。

1992年にビジネス社会の国際化・情報化に対応する実務教育の必要性から誕生いたしました日本国際秘書学会は、設立から毎年、時代の変化と方向性を見据えたテーマを掲げ、研究大会を開催して参りました。本年は、「秘書教育の未来に向けて—キャリア形成に必要なコミュニケーション力を考える」をテーマに、平田祐子大会委員長のもと、西日本支部会員のご協力で、京都大学を会場に研究大会を開催いたします。

テクニカルコミュニケーターの第一人者である森口稔氏による、「コミュニケーションの情と理」と題する基調講演では、情報の橋渡し役としての秘書にとっても、秘書の育成に当たる教員にとっても、コミュニケーションの原点に立ち返り、「伝える」ことの意味を改めて考える機会となることでしょう。

基調講演に引き続き、奥田光子西日本支部長をコーディネーターに、「ライトニングトーク」を行います。「ライトニングトーク」は、1990年代後半に始まったプレゼンテーションの一形式ですが、今回は7人の発表者に、持ち時間5分という短い時間内で、それぞれの演題について発表していただきます。「ライトニング(Lightning)」すなわち「稲妻・電光石火」の言葉どおり、集中力を駆使し刺激に満ちた時間を共有することになるでしょう。私自身、「ライトニングトーク」に参加するのは今回が初めてです。どのような展開になるのか、楽しみです。

平田委員長のご尽力で、京都大学での開催が実現いたしました。ランチタイムには、歴史に刻まれる多数の賢人が青春時代を過ごしたキャンパスの散策などお楽しみください。紅葉の歓迎を期待したいですね。

学会員はもとより、このテーマに関心をお持ちの多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

大会テーマ：「秘書教育の未来に向けて

—キャリア形成に必要なコミュニケーション力を考える—

〈講演者紹介〉

■ 森口 稔 先生(京都外国語大学)

北海道大学卒業。米国 Southern College of Technology で Technical Communication の修士号を取得。大阪府立大学博士課程単位満期退学。高校・大学での英語教員、英文雑誌記者、大手メーカーでの機械翻訳開発や取扱説明書作成などを経験。現在は、京都外国語大学で日本語の話し方を教え、長浜バイオ大学で生物学に関連する英語を教える。その一方で、辞書の執筆に関わり、日本文化を英語で紹介する辞書を企画。また、フリーランスのテクニカルライターおよび翻訳者としても活動。日本コミュニケーション学会・理事、テクニカルコミュニケーター協会・評議員、テクニカルコミュニケーション学術研究会・代表。著書・論文・辞書は以下。

『テクニカルコミュニケーションへの招待』三省堂、2013

『日本語を書くトレーニング』(共著)ひつじ書房、2003

『日本語を話すトレーニング』(共著)ひつじ書房、2004

「情報検索における索引の重要性について」

『テクニカルコミュニケーションシンポジウム 2013 論文集』2013

「一般社会が求めるコミュニケーションとCAJにおける研究の方向性について」

『ヒューマンコミュニケーション研究』41号、2013

「1970年以降の和英辞典研究概観」『言語文化学会論集』39号、2012

「中型和英辞典に収録されていない日本語表現について」

『大阪キリスト教短期大学紀要』52集、2012

『ウィズダム英和辞典』(執筆・校閲)三省堂、2002

『ジーニアス和英辞典・第3版』(編集協力・校閲・執筆)大修館書店、2012

『三省堂国語辞典・第7版』三省堂、2013 予定 など

研究大会プログラム

09:30~10:00	受 付
10:00~10:10	会長・大会委員長 あいさつ 総合司会 加藤晴美
10:10~11:00	総 会 第2研修室(2F)
11:05~11:35	報告Ⅰ『『コミュニケーション能力開発参画型授業』が学生の資質向上および 社会人基礎力強化にもたらす効用 —授業概要と報告—』 報告者 川口 直子(愛知学泉短期大学) 司 会 森山 廣美(四天王寺大学短期大学部)
11:35~12:05	報告Ⅱ「グローバル人材育成の模索 —オリンピック開催へ向けての現状と課題—」 報告者 稲本 恵子(大阪観光大学) 司 会 池田由美子(池田人材育成センター・大阪国際大学)
12:05~13:00	昼 食
13:00~13:30	報告Ⅲ「非言語表現が秘書の接遇場面に及ぼす影響について」 報告者 若生真理子(プール学院大学短期大学部) 司 会 森本 訓弘(元《株》ダイヘン 秘書担当部長)
13:30~14:00	報告Ⅳ「歴史とコミュニケーション—フランスの事例から—」 報告者 東出加奈子(奈良女子大学大学院研究員) 司 会 北垣日出子(日本橋学館大学)
14:00~14:30	報告Ⅴ「対面式コミュニケーション能力の育成： —学生相互評価とコンテスト方式を導入した授業報告—」 報告者 上野真由美(名古屋学芸大学短期大学部) 司 会 大津 洋子(名古屋学芸大学短期大学部名誉教授)
14:30~14:40	休 憩
14:40 ~ 17:00	I. <基調講演> 「コミュニケーションの ^{なさせ} 情と ^{ことわり} 理」 森口 稔 先生(京都外国語大学) II. <ライトニング・トーク> コーディネータ 奥田光子(関西外大 ICC) 発表者1「コミュニケーション教育が目指すもの」中川伸子(神戸女子短期大学) 発表者2「PBLを導入した秘書教育の可能性」 平田祐子(大阪国際大学短期大学部) 発表者3「『半歩先を読んで』秘書のコミュニケーション能力」 安元彩(国際保険(株)会長室リーダー) 発表者4「秘書教育に対するニーズと期待—『秘書実務論』受講生アンケートより」 串田敏美(京都文教大学) 発表者5「災害とジェンダー —秘書にできること、女性にできること—」 四之宮玲子(日本大学) 発表者6「英語教育とグローバル人材の育成についての提言」 平瀬洋子(広島国際学院大学) 発表者7「言語としての表現能力—見えない相手との関わりから—」 佐伯淳一(臨床研究センター) <発表者とのディスカッション>
17:15~19:00	懇 親 会 ラトゥール(京都大学時計台記念館内1階) (会場より徒歩3分) 司会 串田敏美

大会参加について

1. 参加費用

研究大会参加費用(含資料代) 会員 3,000円/非会員 4,000円/学生 1,500円
 懇親会費(申込者のみ) 5,000円

2. 参加申し込み方法

同封のうちよ銀行払込取扱票に申込内容を記入し、参加費用の合計金額を下記口座にお払込みください。費用の払込みをもって参加申し込みとさせていただきますことをご了承くださいませ。

振替口座番号	00990-5-165025
加入者名	日本国際秘書学会 第22回研究大会事務局

3. 申し込み期限

2013年10月31日

4. 会場案内

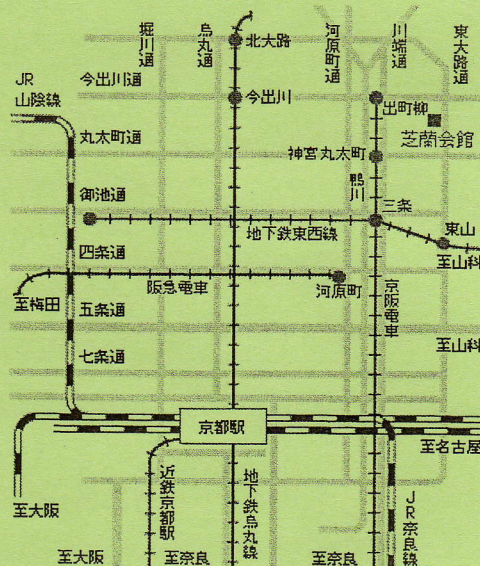
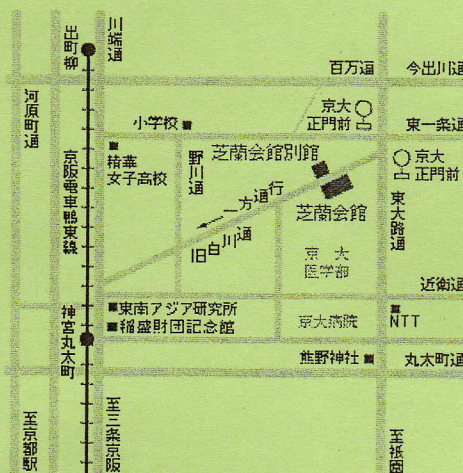
京都大学 芝蘭会館別館 (国際交流会館)

(所在地 京都市左京区吉田牛の宮町11-1)

※アクセスは芝蘭会HPをご覧ください

<http://www.shirankai.or.jp/facilities/access/index.html>

主要鉄道駅	利用交通機関	乗車バス停	市バス系統・経路	バス所要時間	下車バス停
JR・近鉄 京都駅	市バス (D2乗り場) タクシー-20分	京都駅前	206系統 「東山通北大路 バスターミナル」行	約35分	京大正門前
阪急 河原町駅	市バス (出口6番) タクシー-10分	四条河原町	201系統 「祇園 百万遍」行 31系統 「東山通 高野 岩倉」行	約25分	京大正門前
京都市営 地下鉄烏丸線 今出川駅	市バス (出口3番) タクシー-5分	烏丸今出川	201系統 「百万遍 祇園」行	約15分	徒歩2分
京都市営 地下鉄東西線 東山駅	市バス (出口2番) タクシー-5分	東山三条	206系統 「高野 千本北大路」行 201系統 「百万遍 千本今出川」行 31系統 「東山通 高野 岩倉」行	約10分	
京阪 出町柳駅	市バス (出口4番) タクシー-3分	出町柳駅前	201系統 「祇園 みぶ」行	約5分	



第22回研究大会委員会

委員長 平田 祐子
 副委員長 串田 敏美
 委員 池田 由美子 奥田 光子
 加藤 晴美 田村 亜希子
 森山 廣美

<大会事務局>

〒570-8555
 守口市藤田町6丁目21番57号(守口キャンパス)
 大阪国際大学短期大学部 平田祐子研究室
 Tel: 06-6902-0791 (内線:2364 秘書準備室, 2388 研究室)
 Fax: 06-6902-8894 E-mail: y-hirata@oiu.jp